

平成 22 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ジパング・ホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 田端 一宏
 (JASDAQ・コード2684)
 問合せ先 取締役管理本部長 亀田 学
 電話 03-3474-3611

特別損失発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要についてお知らせいたします。また、平成 22 年 1 月 5 日に提出いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 事業譲渡損

当社は、平成 22 年 2 月 10 日開催の取締役会において、当社のリラクゼーション関連事業を、株式会社アスク・ホールディングスに事業譲渡することを決議し、同日付で事業譲渡契約を締結しました。これに伴い、平成 22 年 3 月期の連結決算及び個別決算において、68 百万円の特別損失を計上する見込みです。

(2) 合併関連費用

当社は、平成 22 年 1 月 1 日に、旧株式会社ジパング(吸収消滅会社)と合併いたしました。その費用を合併にかかる各種費用 60 百万円を営業外費用として見積もっておりましたものを、平成 22 年 3 月期の個別決算において、60 百万円の特別損失を計上いたします。

2. 平成 22 年 3 月期 連結業績予測の修正

(1) 通期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|--------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 6,727 | △1,189 | △1,190 | △1,245 | △757.92 |
| 今回発表予想(B) | 6,543 | △923 | △1,071 | △1,202 | △731.73 |
| 増減額(B-A) | △184 | 266 | 119 | 43 | |
| 増減率(%) | △2.74 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成 21 年 6 月期) | — | — | — | — | — |

(2) 修正の理由

売上高につきましては、通販事業部門におきましては堅調な推移と当初予定と変わらぬ予想としておりますが、鉱山事業部門におきましては、米国ネバダ州にて操業しております100%子会社の金生産会社における金及び銀の生産販売が順調に推移し、かつ販売価格も引き続き好調に推移してはおりますが、2009年後半に米国ドルに対して急速に円高が進んだ結果、円換算額の売上高が減少いたしました。この影響により、売上高を160百万円下方修正いたします。

営業利益につきましては、通販事業部門の営業利益を創出する基盤回復が出来ましたことに加え、鉱山事業部門が主管します海外子会社における金生産事業が順調に推移し、生産にかかるコストを削減することが出来

たため、営業損失を縮小しました。但し、旧株式会社ジパングとの合併に伴い発生したのれんの償却に2010年3月末までに110百万円計上いたします。この結果、連結営業利益を合計で266百万円上方修正いたします。

経常利益につきましては、2009年後半の急激な円高に伴い、外貨建て保有資産の評価減により190百万円の為替差損を計上しております。この結果、経常利益を119百万円上方修正いたします。

当期純利益につきましては、平成22年2月10日付「事業譲渡の詳細決定に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、リラクゼーション関連事業からの撤退に伴い、事業譲渡損68百万円が発生する見込みです。よって、当期純利益を43百万円上方修正いたします。

なお、当社の連結財務諸表及び通期連結業績予想につきましては、旧株式会社ジパングを吸収合併したことにより、旧株式会社プライムを被合併会社として業績予想を作成しております。

3. 平成22年3月期 個別業績予測の修正

(1) 通期（平成21年7月1日～平成22年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|----------------|
| 前回発表予想（A） （9ヶ月決算） | 百万円 5,811 | 百万円 △754 | 百万円 △818 | 百万円 △818 | 円 銭 △497.97 |
| 今回発表予想（B） （9ヶ月決算） | 5,787 | △786 | △788 | △939 | △571.63 |
| 増減額（B－A） | △24 | △32 | 30 | △121 | — |
| 増減率（%） | △0.41 | — | — | — | — |
| （ご参考）前期実績 （平成21年6月期） | 6,721 | △1,819 | △1,839 | △2,847 | △42,385.24 |

(2) 修正の理由

売上高につきましては、平成21年末にかけて通販事業部におけるテレビ通販事業が順調に推移したものの、昨今の景気の悪化等による需給関係の悪化を鑑み、24百万円下方修正いたします。

営業利益につきましては、売上高の減少に伴う営業利益の悪化が20百万円、東京事務所の移転費用ならびに旧株式会社ジパングとの統合にかかる費用をに関して追加の支出を10百万円見込み、合計で32百万円下方修正いたします。

経常利益につきましては、上記営業利益の減少によって約32百万円の減少となりましたが、旧株式会社ジパングとの合併にかかる各種費用60百万円を営業外費用として見積もってございましたものを、今回特別損失として計上することとしたため、経常利益を30百万円上方修正いたします。

当期純利益につきましては、平成22年2月10日付「事業譲渡の詳細決定に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、リラクゼーション関連事業からの撤退に伴い、事業譲渡損68百万円が発生する見込みです。また、旧株式会社プライムと旧株式会社ジパングの合併に伴う費用として60百万円を営業外費用として見積もってございましたが、今回特別損失として計上することとしたため、当期純利益を121百万円下方修正いたします。

以 上